

関東学生選手権大会（関東・新人）
組み合わせ（シード）作成手順

1. シード選手の決定

大会の組み合わせの際には以下の順番に規定のシードが埋まるまで入れていく。

シードは参加者に応じた数とする。

団体戦の場合、32チーム以下の参加で8シード、32チーム以上は16シード、64チーム以上は32シードとする。

個人戦の場合、64人・64ペア以下の参加で16シード、それ以上で32シードとする。

決定した選手、大学を「組み合わせトーナメントシード」に配置していく。

（団体戦の場合）

直近大会順位で規定のシード数を埋める。

ただし、大学で2チーム出場する場合、Aチーム→Bチームというランク順とする。

1. 直近大会、A・Bチームが出場しAチームが上位だった場合、Aチームからシードを入れる。
Bチームが上位だった場合、Aチームからシードを入れる。
2. 直近大会、1チームだけの出場だった場合、Aチームをシードに入れる。

（個人戦の場合）

Aシード順（男女シングルス、男女ダブルス）

1. 全日本学生ランキングポイント表上位エントリーからシードに当てはめる。ダブルスの場合は、合算したポイントで上位からシードに当てはめる。
 2. 直近の大学リーグ戦の結果から1部、2部の順で各校1番手、既にシード選手の場合は2番手までの選手を抽選で当てはめる。
 3. 各校1番手を抽選で当てはめる。
- 上記で埋まらない場合は空きとする。

Aシード順（ミックスダブルス）

1. 全日本学生ランキングポイント表をもとに、合算したポイント上位からシードに当てはめる。
 2. 全日本学生ランキングポイント表の男女ダブルスポイントの合算で上位からシードに当てはめる。
- 上記で埋まらない場合は空きとする。

Bシード順（男女シングルス、男女ダブルス）

1. 全日本学生ランキングポイント表上位エントリーからシードに当てはめる。ダブルスの場合は、合算したポイントで上位からシードに当てはめる。
2. 直近の同大会Bトーナメントの結果よりベスト16までを抽選によりシードに当てはめる。優勝・準優勝・3位・ベスト8・ベスト16の順で区切り、同位がいた場合は抽選を行いシードに当てはめる。（ダブルスの場合は、区切りの中で直近同大会同ペアでのエントリーを優先的にシードに当てはめる。）
3. 直近の大学リーグ戦の結果から1部、2部、3部の各校1番手、既にシード選手の場合は2番手ま

での選手を抽選で当てはめる。
4. 各校1番手を抽選で当てはめる。
上記で埋まらない場合は空きとする。

B シード順 (ミックスダブルス)

1. 全日本学生ランキングポイント表をもとに、合算したポイント上位からシードに当てはめる。
 2. 全日本学生ランキングポイント表の男女ダブルスポイントの合算で上位からシードに当てはめる。
 3. 直近の同大会Bトーナメントの結果よりベスト16までを抽選によりシードに当てはめる。優勝・準優勝・3位・ベスト8・ベスト16の順で区切り、同位がいた場合は抽選を行いシードに当てはめる。(区切りの中で直近同大会同ペアでのエントリーを優先的にシードに当てはめる。)
 4. 直近の大学リーグ戦の結果から1部、2部、3部の順で各校1番手、既にシード選手の場合は2番手までの選手を抽選で当てはめる。各部において抽選の優先順位は下記とする。
 - ①同部通しのペアリング
 - ②部をまたいでのペアリング
- 上記で埋まらない場合は空きとする。